

<最新報告>



手賀沼における
オオバナミズキンバイと
ナガエツルノゲイトウ の
最新の様子と今後の繁茂予想

小倉 久子

美手連(手賀沼流域フォーラム)による ナガエ・オオバナ調査

＜2017年＞

6月10日:手賀沼公園で初確認

8月30日:手賀沼公園のナガエ・オオバナを駆除

11月11日:早くも再繁茂

11月15日:手賀沼(ほぼ)全域の繁茂状況調査

—————

＜2018年＞

2月17日:ナガエ・オオバナ追跡調査(冬季)

4月 2日:ナガエ・オオバナ追跡調査(春季)

5月 21日:下沼繁茂状況調査

2月17日：ナガエ・オオバナ追跡調査（冬季）

若松植生帯のオオバナは、すっかり枯れて・・・



2月17日



11月15日

でも、よく見ると、・・



同じ枯草でも、ナガエとオオバナの色が全然違う！



ナガエはベージュ色
オオバナはチョコレート色



大きな群落に上陸してみると



これだけ大きくても、まだ「2年物」
・・・ということは、
すでに2年前から侵入している！？



もう水の中では、「春」が始まっていました。



11月にはなかった
新しいナガエ島



大堀川河口でも、
新しいナガエ島を発見！



どこから来た??

2月17日：ナガエ・オオバナ追跡調査（冬季）

あの**ナガエ大陸**が、ない！！



11月15日には、
広大な**ナガエ・オオバナ大陸**が
広がっていたのに

この「**大陸**」の残骸が、沼のあちこちを漂流していたと
推測。

今までは、ここはナガエの天下でした。



水の中では、ナガエがひっそりと、したたかに
春の準備をしています。

さて、この場所は、今年の夏には
どちらが勝つでしょうか。

4月 2日：ナガエ・オオバナ追跡調査（春季）

沼のあちこちに、昨年の群落の崩壊したものが、
ばらけた「かたまり」になって、漂流、漂着していた。





沼の水位を上げたため、岸のナガエ・オオバナの
枯れた群落が、浮き上がって離岸したと推測。

- ナガエは、分解し始めてはいるけれど、芽を出して再生産(拡大生産)するための土台には不自由していない。
- 沼内のあちこちに枯れてばらけたナガエ・オオバナが漂着し、そこで芽を出していた。



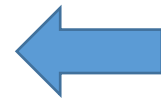
- 機場前にあった広いヨシ帯は、ナガエ(・オオバナ)が大きな群落を作ったために、圧迫されて、大きく後退(減少)してしまった。
- ナガエ・オオバナの群落は、引きはがされても、すぐに同等以上に成長するが、一度衰退したヨシ帯は、回復はむずかしいと思われる。



漂着ナガエの中の、水がよどんだところでは、**ナガエの分解により嫌気化**(水が腐る)して、一部では水質が悪化していた。



ナガエもオオバナも、もう、どんどん芽を出し始めていた。



これはナガエ



これはオオバナ



すでに、4月の時点でオオバナが主導権を握っているところが何か所もあった。





おそらく、強度的には、

ナガエ < ナガエ・オオバナ < オオバナ

なので、今年はがっしりしたオオバナ大陸が誕生するかも。

5月 21日：下沼繁茂状況調査

高野山新田地先植生帯(北岸)



5月21日:下沼繁茂状況調査

滝下広場地先付近(北岸)



鷺野谷新田地先(南岸)



ナガエは、植生帯の中やヨシ帯の中に入り込んでいる。
オオバナは、まだ確認されなかった。

2月～5月の調査でわかったこと

- 冬季に枯れてばらけてきた群落が、**沼の水位上昇で浮き上がって**、離岸し、沼内を漂流する。
- 漂着場所は水がよどみやすく、枯れて腐るナガエ・オオバナは、**水質汚濁**を引き起こしている。
- ナガエ・オオバナは、ヨシ帯に侵入して、**ヨシ帯を衰退**させた。
- ナガエを土台にして、オオバナが繁茂し、ナガエ・オオバナ群落から、しだいに**オオバナ単独の群落に移行**する。
- **造成した植生帯がナガエ・オオバナに侵入**されつつある。
- 下沼の**ヨシ帯**には、ナガエが入り込んでいる。
- 下沼では、**オオバナはまだ確認されなかった**。